

担当テーマ：いのちを拡げる

シグネチャーパビリオン

# 「いのちの未来」

## 石黒 浩

大阪大学教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長



# 技術と融合することにより、 いのちの可能性を広げる

70年大阪万博から50年を経て、生きたい「いのち」を  
自ら設計することが人類の未来ではないだろうか

- 技術が支え技術が設計する「いのち」
- 技術（ロボット）に宿る「いのち」

人工臓器、遺伝子操作、人間らしいロボット、AIによって、人間の定義を拡張し、人間を進化させる科学技術。人間は動物のような生物的進化の方法だけでなく、科学技術による進化の方法を持つ。それが人間を人間たらしめている。

これからの人間は、さらに科学技術を発展させ科学技術と融合しながら、「いのち」の可能性を飛躍的に広げ、その多様な価値観と幸福感で人間自身や人間社会、そしてそれを取り巻く環境や生態系を発展させていく。

本パビリオンは「いのち」（人間・社会）の新たな在り方を創造し、展示する。

- パビリオン展示 -

人間とロボットの  
境界がつかなくなる世界

物理空間、データ空間、物理的な体、データとしての体、寿命、記憶、様々な制約から解放された人を超越した存在としてのアンドロイドロボットが、光と水の空間に存在し、「いのち」について語りかける。

アンドロイドロボットの視点、来館者の視点、バーチャルで入っているアバターの視点が交錯し、来館者は、「新しいいのち」について気づく。

## - パビリオン展示 -



いのちと技術の  
起源に戻る

共創メンバーと考える  
50年後の未来シーン

技術の進化により  
人間とロボットの  
境界がなくなる空間

人、ロボット、アバターの**視点が交錯し、**  
**「新しいいのち」の可能性を知る**

来館者は、人間とアンドロイドロボットが共に働く最先端の生活空間。  
の中を情報を受け取りながら、ゆっくりと通り抜けていく。  
会場には、大阪大学医学部協力により、先端の医療ラボを再現。  
アンドロイドロボット、役者、自分が、混ざり合う空間の中で  
来館者は自分についての未来を知り、迷い始める。

- バーチャル展開 -

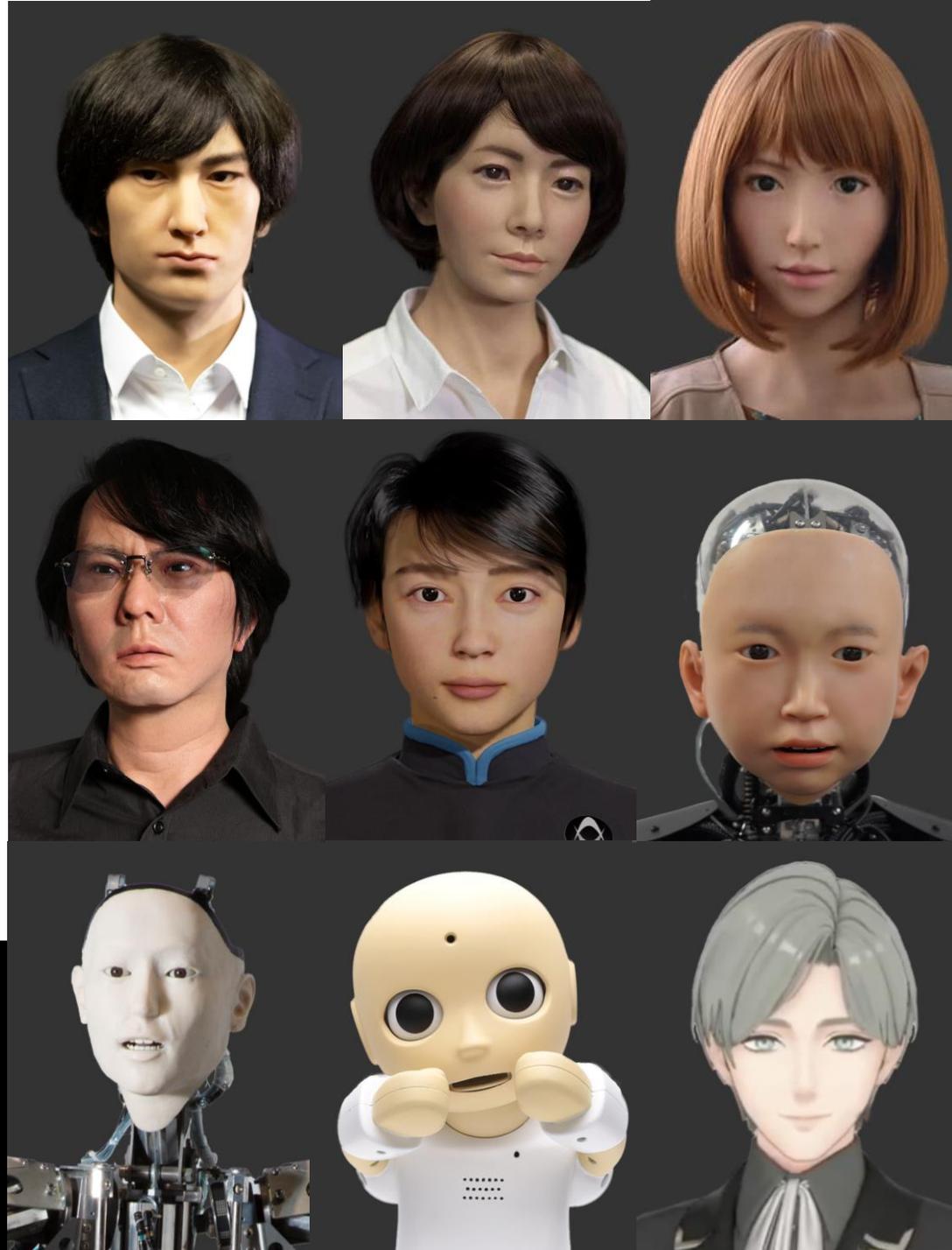
ロボット技術 × バーチャル

バーチャルにおける**身体の拡張**  
「新しいのち」の実感

万博開催前からオープンし、定期的にイベント開催。最先端クオリティのVR空間イベントをアバターで体験。

バーチャル空間での体験とリアル空間に参加体験の二軸に加え、万博開催前と開催中のレイヤーで合計4軸の展開予定。

技術と思考で自ら設計する「新しいのち」を感じさせる



# - バーチャル展開 -

## [バーチャル万博] 体験

### 1. オンラインでバーチャル万博を体験

- ① 開催前にオープンイベント開催  
→最先端クオリティーのVR空間をアバターで体験  
万博の事前 PRとして世界に発信

- ② 開催中の実会場と並行開催  
バーチャル会場へアクセス可能  
→デジタルアバターによる「拡張する（デジタル上の）身体」  
でリアルに体験

### 2. オンラインでバーチャルイベントに参加

- ③ 開催中のリアルイベントと並行開催  
実会場含めたどこからでもバーチャルイベント会場に  
アクセス可能

万博  
開催前

万博  
開催中

万博  
開催後

## [リアル万博] 体験

パビリオンがバーチャル空間の象徴として存在  
※パビリオンはバーチャル空間オリジナルの造形

### 3. オンラインでリアル万博を体験

- ④ 開催中の実会場にリアルタイムでアクセス可能  
→物理的なアバター（ロボット）による「拡張する身体」  
で実会場に参加

### 4. オンラインでリアルイベントに参加

- ⑤ オンラインで世界中のひとたちが集まるイベント  
会場にリアルタイムでアクセス可能  
→物理的なアバター（ロボット）による「拡張する身体」  
で実会場に参加

- シグネチャーイベント -

いのちの未来パフォーマンス

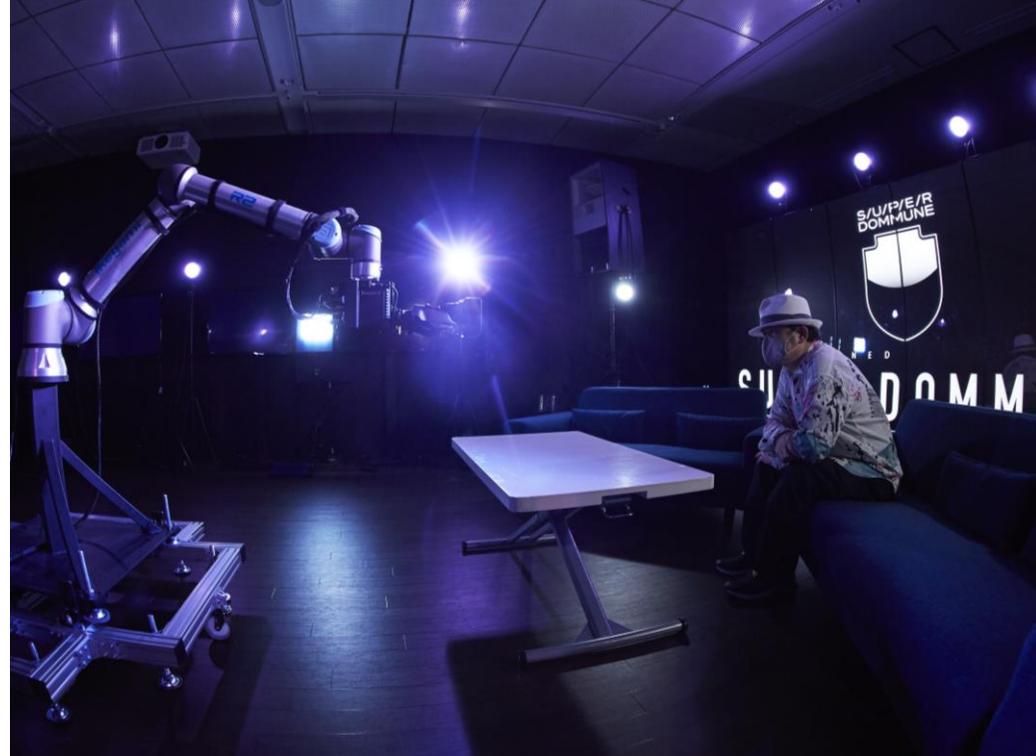
ロボット音楽ライブ by DOMMUNE

ロボットオペラ

他多数

バーチャルとリアルを行き来する三途の川役として、  
公式レギュラーライブ配信番組兼イベント  
文化とテクノロジーを世界的視座でゲストを招いてのトークパートと  
企画に関連派生した音楽をDJMIXしてライブ配信

AI×ロボットの演奏する音楽と人間がテクノロジーを操作して演奏する  
音楽の混合ミュージックイベントを計画



# いのちの未来 共創プロジェクト2025

石黒浩「いのちの未来」に共感して集まって頂いた企業の方々と50年後の未来を創造する共創プロジェクト。

リアル、オンラインに加え、バーチャルでアバターを使ったカンファレンスを石黒教授とゲストスピーカーを招いて開催なども予定。



シナリオ、技術展示への展開

パビリオン

パビリオン展示へ反映

「いのちの未来 共創プロジェクト」議論

コンテンツなどへ反映

バーチャル空間

イベント

スピンオフ企画

バーチャル空間での展開／イベントや出版への展開

## - 協働クリエイター -



プランニングディレクター  
内田まほろ  
キュレーター  
JR東日本文化創造財団、大阪大学招聘教授



アーキテクチャルディレクター  
遠藤 治郎  
建築家／空間演出家／照明家／展示デザイナー  
／フェスティバルデザイナー  
SOIHOUSE代表



マネージングディレクター  
小林 大介  
プランナー／制作ディレクター  
(株) パルコ エンタテインメント事業部  
コンテンツ担当部長、  
パルコギャラリーディレクター



バーチャルスペースディレクター  
宇川 直宏  
現在美術家／映像作家／VJ  
／グラフィックデザイナー  
DOMMUNE主宰、  
全国各地フェスティバルディレクター多数、  
芸術選奨文部大臣賞受賞